

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（2021年10～12月期実績、2022年1月～3月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

産業全体はすべての指標が3期連続上昇































今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△27.4、採算D Iが△34.7、資金繰りD Iが△14.7となり、対前期比でそれぞれ1.6ポイント、4.1ポイント、7.4ポイント上昇した。産業別では、製造業が全指標の好転が目立つ結果となった。

次期の産業全体の景況は、売上額D I、採算D I、資金繰りD Iとも上昇の見通しである。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △27.4（対前期比 1.6上昇） 次期予想 △4.0（対前期比 23.4上昇）
- ・採算D I △34.7（対前期比 4.1上昇） 次期予想 △24.8（対前期比 9.9上昇）
- ・資金繰りD I △14.7（対前期比 7.4上昇） 次期予想 △13.0（対前期比 1.7上昇）

産業全体景況天気

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2021年1月～3月		△52.5 		△44.4 		△36.2 
2021年4月～6月		△32.9 		△39.1 		△23.6 
2021年7月～9月		△29.0 		△38.8 		△22.1 
2021年10月～12月		△27.4 		△34.7 		△14.7 
2022年1月～3月 （見通し）		△4.0 		△24.8 		△13.0 

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業は全指標とも好転































製造業では、売上額D Iは△2.9ポイントで対前期比45.6ポイント、採算D Iは△37.2ポイントで対前期比8.5ポイント、資金繰りD Iは△24.2ポイントで対前期比17.0ポイントそれぞれ好転した。

次期は、売上額D I、採算D I、資金繰りD Iとも上昇する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △2.9 (対前期比 45.6 好転) 次期予想 2.8 (対前期比 5.7 上昇)
- ・採算D I △37.2 (対前期比 8.5 好転) 次期予想 △28.6 (対前期比 8.6 上昇)
- ・資金繰りD I △24.2 (対前期比 17.0 好転) 次期予想 △14.7 (対前期比 9.5 上昇)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2021年1月～3月		△62.9 		△48.5 		△37.1 
2021年4月～6月		△37.2 		△37.2 		△28.6 
2021年7月～9月		△48.5 		△45.7 		△41.2 
2021年10月～12月		△2.9 		△37.2 		△24.2 
2022年1月～3月 (見通し)		2.8 		△28.6 		△14.7 

(2) 建設業

建設業は全指標で悪化、低下































建設業では、売上額D Iは11.5ポイントで対前期比27.5ポイント悪化し、採算D Iは△19.2ポイントで対前期比3.2ポイント低下、資金繰りD Iは△7.7ポイントで対前期比3.7ポイント低下した。

次期は、採算D Iは悪化する見通しであるが、売上額D I及び資金繰りD Iは好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △11.5 (対前期比 △27.5 悪化) 次期予想 0.0 (対前期比 11.5 好転)
- ・採算D I △19.2 (対前期比 △3.2 低下) 次期予想 △20.0 (対前期比 △0.8 悪化)
- ・資金繰りD I △7.7 (対前期比 △3.7 低下) 次期予想 △4.0 (対前期比 3.7 好転)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2021年1月～3月		△15.4 		△19.3 		△15.4 
2021年4月～6月		△15.4 		△12.0 		4.0 
2021年7月～9月		16.0 		△16.0 		△4.0 
2021年10月～12月		△11.5 		△19.2 		△7.7 
2022年1月～3月 (見通し)		0.0 		△20.0 		△4.0 

(3) 小売業

小売業は売上額D I が悪化、採算D I、資金繰りD I は好転、上昇































小売業では、売上額D I が△34.8ポイントで対前期比15.2ポイント悪化したが、採算D I は△32.6ポイント、資金繰りD I は17.8ポイントとなり、対前期比13.0ポイント、4.0ポイントそれぞれ好転、上昇した。

次期は、売上額D I、採算D I、資金繰りD I とも好転、上昇する見通しである。

主要3D I の対前年同期比推移

- ・売上額D I △34.8 (対前期比 △15.2 悪化) 次期予想 △13.6 (対前期比 21.2 好転)
- ・採算D I △32.6 (対前期比 13.0 好転) 次期予想 △22.2 (対前期比 10.4 上昇)
- ・資金繰りD I △17.8 (対前期比 4.0 上昇) 次期予想 △13.4 (対前期比 4.4 上昇)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2021年1月～3月		△29.8 		△36.2 		△31.9 
2021年4月～6月		△37.0 		△41.3 		△26.1 
2021年7月～9月		△19.6 		△45.6 		△21.8 
2021年10月～12月		△34.8 		△32.6 		△17.8 
2022年1月～3月 (見通し)		△13.6 		△22.2 		△13.4 

(4) サービス業

サービス業は採算D Iが悪化































サービス業では、売上額D Iが△40.3ポイントで対前期比0.8ポイント好転したが、採算D Iは△40.3ポイントで対前期比1.4ポイント悪化、資金繰りD Iは△11.1ポイントで対前期比8.7ポイント上昇した。

次期は、売上額D I、採算D Iは上昇、好転し、資金繰りD Iは悪化する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △40.3 (対前期比 0.8 好転) 次期予想 △2.8 (対前期比 37.5 上昇)
- ・採算D I △40.3 (対前期比 △1.4 悪化) 次期予想 △26.4 (対前期比 13.9 好転)
- ・資金繰りD I △11.1 (対前期比 8.7 上昇) 次期予想 △15.3 (対前期比 △4.2 悪化)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2021年1月～3月		△76.1 		△57.1 		△46.4 
2021年4月～6月		△34.7 		△48.0 		△29.2 
2021年7月～9月		△41.1 		△38.9 		△19.8 
2021年10月～12月		△40.3 		△40.3 		△11.1 
2022年1月～3月 (見通し)		△2.8 		△26.4 		△15.3 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	8.6%	生産設備、付帯施設	5.7%	生産設備、車両運搬具
建設業	7.7%	車両運搬具	11.5%	建設機械、車両運搬具 OA機器、福利厚生施設
小売業	10.9%	店舗、販売設備 付帯施設	20.0%	店舗、販売設備 車両運搬具、付帯施設 OA機器
サービス業	16.7%	建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他	19.4%	建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他

4 経営上の問題

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	40.6%
	2位	原材料価格の上昇	21.9%
	3位	製品ニーズの変化	12.5%
建設業	1位	材料価格の上昇	36.8%
	2位	請負単価の低下、上昇難	15.8%
	3位	従業員の確保難	10.5%
その他		10.5%	
小売業	1位	需要の停滞	30.2%
	2位	消費者ニーズの変化	16.3%
		仕入単価の上昇	16.3%
サービス業	1位	需要の停滞	23.1%
	2位	材料等仕入単価の上昇	15.4%
	3位	店舗施設の狭隘・老朽化	12.3%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

2021年10月から12月までの第3四半期を対象とし、調査時点は2021年11月15日。

(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業26企業、小売業46企業、サービス業73企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0~△60.1	 曇 △ 60.0~△20.1	 薄曇 △ 20.0~20.0	 晴れ 20.1~60.0	 快晴 60.1~100.0
---	---	---	---	--

令和3年12月1日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041